

第10回
学術集会

大会テーマ「私たちはいかにして代替養育
の実践家になるのか」

■午前の部■ 10時～12時

基調講演

養育の現象学に向けて

～〈個〉の实践から
浮かび上がるもの～
中里 晋三

東京大学 / 特任研究員
Living in Peace / 代表理事

■会期■

2023年7月9日（日）

10時～17時
（受付：9時30分～）

■開催・参加方法■

オンライン

会員の場合：参加費は無料です。参加登録後視聴用ID
をお送りいたします
非会員の場合：参加登録をしていただき、参加費の
お振込確認後、視聴用IDをお送りいたします。
団体参加もごさい。詳しくは学会HPをご覧ください。



イラスト提供 ふわふわ。り

■午後の部■ 13時30分～17時

シンポジウム

代替養育の実践家になる
プロセスを共に考える

企画者 森 茂起

シンポジスト

太田有香（児童養護施設栄光園）

林 共生（ファミリーホーム林）

勝原 駿（児童養護施設博愛社）

- <参加申込>
- 申込方法：大会事務局宛に、以下の内容を明記の上お申込みください。
①お名前、②職種、③ご所属、④メールアドレス、⑤電話番号
⑥会員・非会員の別 ※団体参加可能です（詳細は学会ホームページへ）
 - 申込先：右記QRコードを読み取り必要事項をご入力ください。
学会ホームページからもお申し込み頂けます（裏面）。
団体申し込みは学会ホームページからお申込みください。
 - 参加費：学会員 無料 / 非会員 終日：5,000円、前半もしくは後半のみ：3,000円
 - 振込先：ゆうちょ銀行〇二九店 当座 0105374

私たちはいかにして代替養育の実践家になるのか

代替養育には、それを支える制度や理論が様々あります。日々の実践をよりよいものにするために、使える制度を活用し、使える理論を求めて研修や勉強を続けることはもちろん重要です。しかし、個々の実践家が、実践現場に入って、それぞれの経験を積み重ねるなかで実践家になっていくプロセス、実践の場に居続けることをあらためて選びなおすプロセスは、制度や理論で説明できるものではありません。そこには、個人の思いや感情、そして他者との出会いや関わりが大きく関係し、一人一人の異なったプロセスがあります。そうした「個」の体験を見つめ直しながら、個人の中に止めるのではなく、互いに共有することには、大きな意味があると思われます。日常の個人的な人間関係の中での共有も重要ですが、それよりは外に開けた場で、振り返りと共有を行うことで何が見えてくるのでしょうか。「現象学」という、個人の経験を見つめる一つの方法を通して共に考えてみたいと思います。

< プログラム >

9:30 受付開始

10:00 開会 理事長挨拶

基調講演（ライブ配信／オンデマンド配信）

養育の現象学に向けて～〈個〉の実践から浮かび 上がるもの～

中里 晋三

東京大学／特任研究員

Living in Peace／代表理事

12:00 休憩

13:30 シンポジウム（ライブ配信）

代替養育の実践家になるプロセスを考える

午前の部に引き続き、経験を通して実践家となってこられた方々に、それぞれの経験の振り返りと、そこから今見える理解を語っていただき、フロアからの発言も含めて共に考える会としたいと思います。

司会：森 茂起 (甲南大学)

シンポジスト：

太田 有香（児童養護施設栄光園）

林 共生（ファミリーホーム林）

勝原 駿（児童養護施設博愛社）

16:30 閉会の挨拶 他

17:00 閉会

配信への参加方法

・受付時間になりましたら、あらかじめ配布しております視聴用IDよりご参加ください。

学会HPからも参加登録できます

下記QRコードを読み取るか、URLを入力いただき学会HPへお入りください。

<https://www.social-pedagogy.jp/>



HPからの参加登録方法

トップページから【第10回学術集会】
の案内へとお進みください。

当日のオンライン参加

当日のオンライン参加は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。